



さとやま

5月に見られるいきもの



今年の4月は、台風が日本に接近したり、気温が 25℃を超える日があったり、春から突然初夏になってしまったような気候でした。生き物たちのカレンダーも少し速足で進んでいるように感じます。そんな里ですが、普段5月に見られる生き物をご紹介します。

駐車場入り口には、写真のように何株かの白い花をつける**ヤマボウシ**があります。実はいくつかの小さな花の集合体で、花弁に見えるのは総苞です。近くには海岸性の低木**トベラ**も咲きます。

センターゾーンでは、一面に様々な色の**ニワゼキショウ**が咲きます。**カキ**畑では、よく見ると花が咲いていることに気がつきます。ハンノキ広場では、**エゴノキ**の花がみられ、運が良ければ中央広場の入り口付近で、別名「卵の花」と呼ばれる、**ウツギ**の花が見られることがあります。

トンボの里では、**オカタツナミソウ**の花の近くで、**ヤマサナエ**を見つけることができます。

万灯山エリアでは林の中の道で、**ツルアリドオシ**の2つ並んだかわいい花に出逢えます。

水分補給に注意して、春の終わりの生き物たちを探して、里を散策してみませんか。



トベラ



ニワゼキショウ



カキ



エゴノキ



ウツギ



オカタツナミソウ



ヤマサナエ



ツルアリドオシ

里の生き物紹介

里のイチゴ

4月に見られる生き物でご紹介したクサイチゴの花、5~6月には赤く実ります。



「草」と名がついていますが、低木です。実は食べられます。

ところでこの実、スーパーなどで売られている苺とは姿が違ってきます。どちらもバラ科ですが、市販のものは、**オランダイチゴ**といい、**オランダイチゴ属**に分類されます。クサイチゴは、**キイチゴ属**に分類されます。

イチゴのなかまの花は、雌しべが多数あり、これが花床（かしょう）と呼ばれる土台についています。クサイチゴの果実は、球形の花床にくっつく形で成長し、熟すと簡単に外れます。



オランダイチゴを切ってみました。本当の果実は、一般に種と呼ばれている表面の粒にあたります。

花床の部分が大きくなって私たちはそこを食べているのです。



里には、ほかにもイチゴと名の付く植物があります。

ヘビイチゴ

こちらは、**キシムシロ属**に分類される多年草です。田んぼエリアなどでよく見られ、4月初め頃花を咲かせ、4月終わりから5月頃に赤く実ります。

実のタイプはオランダイチゴ型です。





蛇がいそうな場所に生育するため名がついたと言われています。実は食べても無害ですが、美味しくはないようです。

ヤブヘビイチゴ



ヘビイチゴと近縁ですが、こちらの方が少し遅く4月下旬から5月に花をつけます。トンボの里などの林縁で見られ、全体に大型で、がくのさらに下にある副がく片が大きく、葉が濃い緑色で縦に長いことで見分けることができます。

実を切ってみると、白い大きな花床に小さな果実がついているのが分かります。



このように、春に実るものが多い里のイチゴたちの中で、ちょっと変わり者もあります。

フユイチゴ



こちらはキイチゴ属の低木で、地面を這うように広がります。杉林や万灯山エリアで多数見られ、夏の終わりから秋頃花が咲き、晩秋から冬頃に実が熟します。葉が丸っこく、ふちに細かいノギリ歯があるので、花や実がなくても見つけやすいです。

実はキイチゴ型で食べられ、味は良い方です。

こんな里のイチゴたちをみつけてみて下さい。

4月の行事紹介



「春が旬“タケノコ”掘り」を4月2日（土）と10日（日）に開催しました。この講座は、毎年講座参加者の受付開始日に定員が一杯になる好評な講座です。

今年のタケノコの生育は例年と比べて遅れておりましたが、やや小ぶりではありますが「柔らかくおいしいタケノコ」を収穫することができました。

作業終了後の感想は、意外と大変だったけど楽しかった、直に体験でき良い経験になった、自然のことをたくさん知ることができた等で満足していただいたようです。

5月の行事予定

8日（日）	野鳥のさえずりを聞いてみよう	20名	AM 9:30~11:30	高田 俊洋
15日（日）	やさしい苔玉教室	20名	AM 9:30~11:30	長谷部弥生
22日（日）	里山の稲作体験Ⅰ（田植え）※注1【予備日：5/29】	30名	AM 9:30~11:30	当園職員

※注1～里山の稲作体験Ⅰ～Ⅲの講座は原則3回の講座のため、少なくとも2回以上受講した方に限り、参加特典として「お米」をプレゼントします。

6月の行事予定

5日（日）	昔なつかしい“草花あそび”	20名	AM 9:30~11:30	河江喜久代
-------	---------------	-----	---------------	-------

- ◎ **参加受付**は、各講座3週間前の午前8時30分から先着順に受け付け、来園、または電話受付し、お申込みは本人、もしくはその家族までとします。なお、申込者が**6名以下の場合**は開講しません。
- ◎ **参加申込者**は傷害保険に加入するため、小学生以上の方とします。なお、小さいお子さまをお連れいただいても構いませんが「見学者扱い」とし、傷害保険の加入はありません。
- ◎ **当日の天候や新型コロナウイルス感染症の拡大防止**のため、講座の中止・延期、または講座の内容を変更する場合があります。
- ◎ 原則、**参加費は無料**ですが、各講座により**材料費は実費**を申し受けます。[講師に直接払う]
- ◎ **各講座の詳細な内容**については、直接ネイチャーセンターにご確認ください。

西尾いきものふれあいの里

◆ところ 〒445-0031 愛知県西尾市家武町小草3番地 Tel・Fax 0563-52-0266

◆休日 毎週月曜日・祝日の翌日・年末年始 [12/28~1/4] ◆発行 西尾市環境部環境保全課